

令和5年度 第3回 吹田市自殺対策推進懇談会 議事録

日時：令和6年2月8日（木）10：00～

場所：吹田市保健所 2階 講堂

開会

- ・事務局より、傍聴者1名
- ・事務局より、欠席者 社会福祉協議会 委員、薬剤師会 委員 市民委員
- ・事務局より、資料の確認

- ・委員長よりあいさつ

本日は今年度の懇談会最終回で計画のまとめ。この間委員にはご尽力いただいた。感想も含めて全員に話をしていただきたい。

1 第2次吹田市自殺対策計画（素案）に係る意見募集について

- ・事務局より、資料1「提出意見及び市の考え方」の説明
市民意見をもって大きく計画を修正した部分はない。
市の考え方の回答案は公開前のもの。確定次第ホームページ等で公開予定である。
(質疑、応答)
委員からの質問及び意見はなし。

2 第2次吹田市自殺対策計画（案）について

- ・事務局より、資料2「2次吹田市自殺対策計画（案）」の説明
表紙案については、3案提示。(人物の掲載された案、ハート模様の案、グリーンの幾何学模様の案)。

(質疑、応答)

委員長：パブリックコメントの回答についての公表のスケジュールはどうなっているか。

その他意見や質問があればお願いしたい。

事務局：庁内部長会議にて懇談会意見を踏まえたうえで、回答案を確定する予定である。市役所内での事務手続きを終えたのち、3月末完成の見込み。

委員：計画書の配布先はどこか。市民がパッと見てわかりやすい簡易版や周知はどのようにする予定か。

事務局：市民に理解してもらいやすいよう、A3両面刷りの概要版を作成し、市民講演会や自殺予防啓発週間・月間時、ゲートキーパー研修実施の際に配布したい。自殺対策計画自体の認知度の低さもあるため、あわせて普及啓発に努めたい。

委員長：吹田市の広報で特集を組むといったことはあり得るか。

事務局：広報担当課との協議が必要。自殺対策の啓発強化月間等に合わせてPRを考えたい。

委員：強化月間はいつか。

事務局：自殺予防週間が9月10日から16日まで。自殺対策強化月間が3月。例年、当該時期にはホームページ、SNS、大学のイントラネット等を活用して自殺対策に関する啓発は行っているところであるが、策定後、計画についても啓発内容に盛り込むようにする。

委員長：表紙が未確定なので意見をもらえれば。弁護士会でも人物が入ったものについては表現がパターン化しがちな点について意見が出た。人物をのぞいて木とハートだけにする案もあると思う

がどうか。

委員：ハート模様のものがやわらかくてよいと思う。幾何学模様は硬い感じがする。

計画自体にも多くのネットワークがあることが記載されている。

委員：幾何学模様もシンプルでよいと思う。

委員：字体をやわらかくすることで幾何学模様の物も威圧感が減るのではないか。また、キャッチフレーズ（いのち支えるまち吹田）が目に入るような構成がいいのではないか。

委員長：キャッチフレーズが目立つようにするという意見には賛同する。意見は十人十色なのでこれらを踏まえて事務局で集約するというのでよいか。

委員長：これで本日の案件はすべて終了。進行を事務局に返す。

3 その他

- ・事務局より、懇談会委員任期について説明

閉会